

# 取扱説明書

日立LED照明器具  
(人感センサー付)

**HITACHI**  
Inspire the Next

保存用

## LED光源ユニット器具本体

【逆富士形】 型式：NC4A1SL・NC4B1SL

日本国内用

### 適合LED光源ユニット

7,000lmタイプ	6,000lmタイプ	5,200lmタイプ	4,400lmタイプ	3,800lmタイプ	3,000lmタイプ	2,200lmタイプ
CE407*E-X14A CE407*G-X14A	CE406*E-X14A CE406*G-X14A	CE405*E-X14A CE405*G-X14A	CE404*E-X14A	CE403*E-X14A	CE403*F-X14A	CE402*E-X14A

\*= D:昼光色、N:昼白色、W:白色、WW:温白色、L:電球色

注) 点灯方式が「X:連続調光・固定出力兼用形」のLED光源ユニット以外との組み合わせでは使用できません。

- このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 器具の取り付け工事には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず有資格者に依頼し、内線規程に従ってください。お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。ここに示した注意事項は、表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を次の表示で区分し、説明しています。

### 絵表示の例



「警告や注意を促す」  
内容のものです。



してはいけない「禁止」  
内容のものです。



実行していただく「指示」  
内容のものです。

工事店様へ この取扱説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

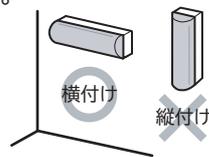
## 安全上のご注意 (必ずお守りください)



### 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

- 取り付け工事は「器具本体の取り付けかた」に従い、確実に行う ※不備があると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 適合する日立製LED光源ユニット以外と組み合わせて使用しない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 人が触れるおそれがある場所に取り付けて使用しない ※感電・やけどによるけがの原因となります。
- 天井・壁(横)直付け兼用器具です。壁(縦)取り付けや傾斜天井への取り付けはしない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)以外の電圧で使用しない ※火災・感電の原因となります。
- 器具が破損した状態で使用しない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具を分解、改造しない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具を接続して使用する際は、端子台や漏電ブレーカーの定格容量を超えて使用しない ※火災・感電の原因となります。



### 注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光の当たる場所・湿気が多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・オイルミストや粉じんの発生する場所・腐食性ガスの発生する場所・風などが直接当たる場所では使用しない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具に物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない ※器具の破損によるけがの原因となります。
- 周囲温度は5~35℃以外では使用しない ※火災・不点灯・短寿命の原因となります。
- 器具を密集させて取り付けない ※過熱し、火災の原因となります。
- 送り配線は照明器具専用回路とし、組み合わせるLED光源ユニットと人感センサー付照明器具の入力電流合計が電源端子台の定格容量20Aを超えて接続しない ※容量を超えると電源端子台が過熱し火災の原因となります。
- 器具内送り配線をする場合、以下のケーブル以外は使用しない ※火災・感電の原因となります。  
(電源線の器具間送り配線は、エンドK.Oより器具内送り配線することもできますが、器具内のスペースが狭くなっていますので、天井裏で送り配線することを推奨します。)  
◎電源線：600V ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EE) φ1.6、φ2.0

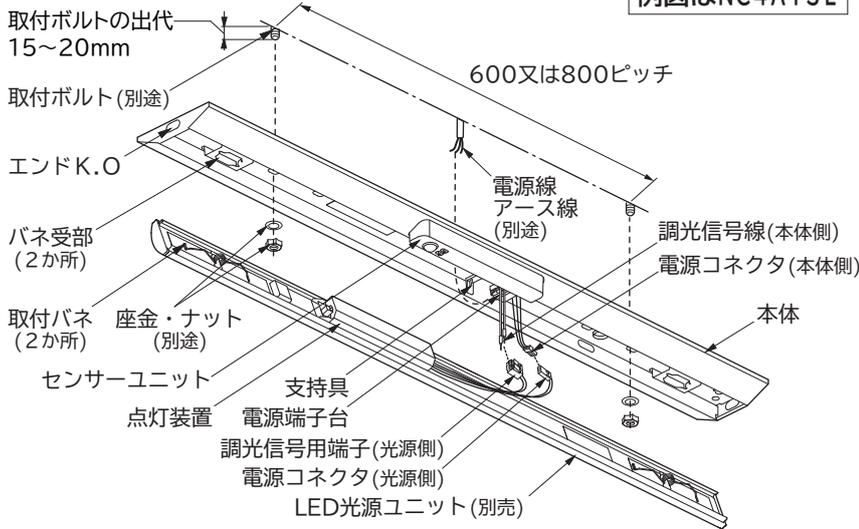
## その他のご注意

- 500Vを超える絶縁抵抗計を用いて、絶縁抵抗試験をしないでください。 ※故障の原因となります。
- 電源入力部に電源スイッチなどを設置する場合は、必ず活線側に電源スイッチなどを設置(両相とも活線の場合は両相に設置)してください。 ※早期故障・電源オフ時にLEDが微発光する原因となります。
- 漏電ブレーカーに本器具を多数接続する場合は、器具の接続台数に注意してください。不要動作を防止するため、組み合わせるLED光源ユニットの最大接続台数までとしてください。
- パイプ吊りやチェーン吊りで取り付けしないでください。 ※器具が傾き、検知範囲に影響します。

# 各部の名前

※取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です

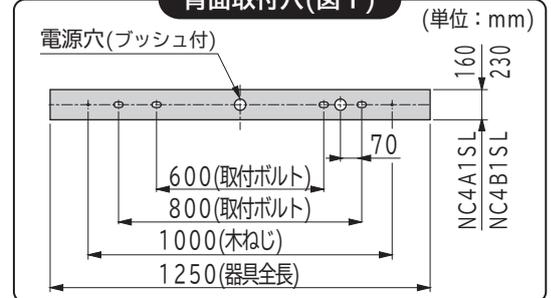
例図はNC4A1SL



器具質量(表1)

型式	本体質量	光源質量	合計質量
NC4A1SL	1.5 kg	1.1 kg	2.6 kg
NC4B1SL	1.8 kg	1.1 kg	2.9 kg

背面取付穴(図1)



## 器具本体の取り付けかた

### 1 取付前に確認する

- 取付ボルトは、LED光源ユニットを足した器具質量(表1)に十分耐える強度のある天井面に設ける  
※強度が不足していると、落下によるけがの原因となります。
- 取付寸法は、背面取付穴(図1)の取付ピッチを参照する  
※取付ボルトはW3/8又はM10を使用する。  
木ねじは、丸木ねじの呼び径4.1以上を使用する。
- 取付ボルトの出代は本体15~20mmにする  
※取付ボルトが出過ぎると、LED光源ユニットが取り付けられなくなります。

### 2 器具本体を天井面に取り付ける

- 電源線・アース線を電源穴(ブッシュ付)から引き込んでおく
- 本体を取付ボルト又は、木ねじで確実に取り付け  
(取付ボルト推奨締付トルク値: 1.5N・m)  
※不備があると、落下によるけがの原因となります。

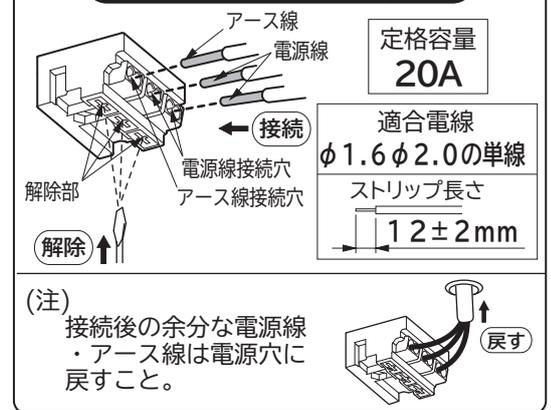
### 3 電源線・アース線を電源端子台に接続する

- 電源端子台の接続と解除(図2)を参照する
- 電源線・アース線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかり差し込む  
※接続に不備があると、火災・感電の原因となります。
- 電源線・アース線を解除する場合は、ドライバーで解除部を押し外す
- アース工事はD種接地工事を行う  
※アース工事が不完全な場合、感電・火災の原因となります。
- 接続後の余分な電源線・アース線は電源穴に戻し、電源端子台の接続部に張力が加わらないよう配線処理をする

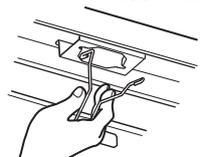
### 4 日立製LED光源ユニットの取扱説明書に従いLED光源ユニットを取り付ける

- LED光源ユニットの点灯装置を電源端子台に当たらない向きに合わせて、取付パネ(2か所)をパネ受部に引っ掛ける(図3)  
※向きが合っていないと取り付けできません。
- 本体側の電源コネクタと光源側の電源コネクタを「カチッ」と音がするまで差し込む(図4)  
※接続に不備があると、火災・感電の原因となります。
- 本体側の調光信号線を光源側の調光信号用端子の接続穴にしっかり差し込む(図5)  
※接続に不備があると、動作不良の原因となります。

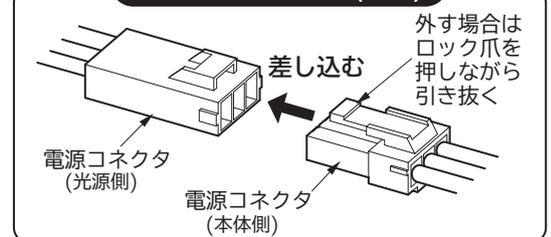
電源端子台の接続と解除(図2)



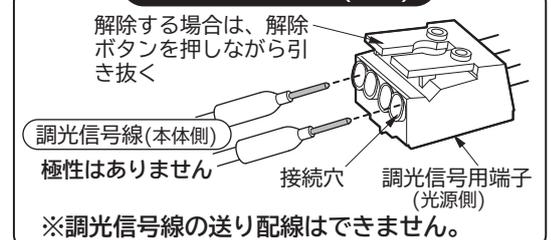
取付パネの取り付け(図3)

- 取付パネをすぼめ、パネ受部に差し込み引っ掛ける。
- 
- 外す場合は、取付パネをすぼめる。

電源コネクタの接続(図4)

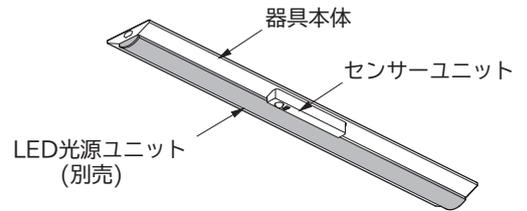


調光信号線の接続(図5)



## 5 LED光源ユニットを押し上げ、器具本体に取り付ける

- LEDカバーを強く押し下したり、つかんだりしない  
※LEDカバー破損によるけがの原因となります。
- LED光源ユニットの中央付近を押し上げ、器具本体との隙間がないことを確認する  
※電線を挟まないよう処理してください。



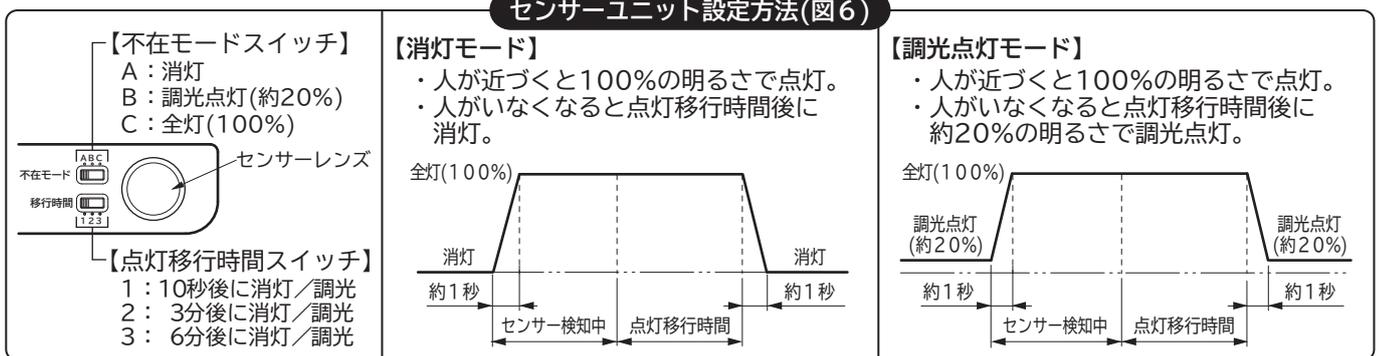
【完成状態】

## 6 取り付け完了後、絶縁抵抗を確認する

- 絶縁抵抗試験は500V以下の絶縁抵抗計を用いる  
※500Vを超える絶縁抵抗計を用いると、故障の原因となります。

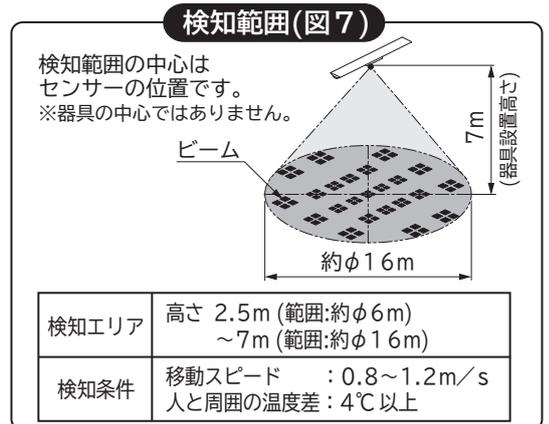
## 7 センサーユニットの不在モード／移行時間を設定する (図6)

- 不在モードスイッチを「消灯」「調光点灯」または「全灯」に設定してください。  
※「全灯」に設定した場合、センサーは動作せず100%の明るさで連続点灯します。  
※工場出荷時は「消灯」に設定されています。
- 点灯移行時間スイッチを「10秒」「3分」または「6分」に設定してください。  
※工場出荷時は「10秒」に設定されています。



## 8 電源を入れ、動作確認をする

- 検知範囲は右図を参照してください。(図7)  
※器具の取付高さが高い場合や、夏場など周囲温度が体温に近い温度の場合は、検知感度が鈍くなることがあります。  
※検知範囲内に人が入っても、センサーのビームを通過しないと検知しない場合があります。
- 電源を入れて検知範囲の外でお待ちください。  
約30秒間の100%点灯の後、不在モードの「消灯」または「調光点灯」に切り替わります。
- 検知範囲に入ってください。100%点灯します。
- 再度検知範囲の外に出てください。  
設定された点灯移行時間(10秒、3分、6分)後、不在モードの「消灯」または「調光点灯」に切り替わります。



お客様へ この取扱説明書は必ず保存してください。

# 安全上のご注意 (必ずお守りください)

## 警告

- 本器具単独での使用はできません。日立製LED光源ユニットと組み合わせて使用してください。  
※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具を分解、改造しない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具の隙間に金属類を差し込まない ※火災・感電の原因となります。
- 器具を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しない ※火災の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、器具の使用をやめる ※火災・感電の原因となります。
- LED光源ユニットを取り外す場合は、必ず電源を切る ※感電の原因となります。

## 注意

- 器具の近くで温度の高くなるもの(ストーブ・ガスレンジ等)を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない  
※火災の原因となります。
- 器具に物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない  
※器具の破損によるけがの原因となります。
- LED光源ユニットを直視しない ※目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

## ご使用上の注意

- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をする。  
3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
- 照明器具には寿命があります。LED光源ユニットは寿命が来ても点灯し続けますが、設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行していますので点検・交換してください。  
(使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。)
- 電波の弱い場所(山間・鉄筋建物等)では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのはお避けください。リモコンを操作しても作動しないことがあります。
- 器具の近くで同時通訳機等の誘導無線やワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に作動しないことがあります。
- 電源電圧変動などの影響により、瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。
- 壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によって光ムラが気になる場合があります。
- 点灯直後及び消灯直後にきしみ音が聞こえる事がありますが、プラスチック製のLEDカバー伸縮により起こる摩擦音で製品の異常ではありません。
- 虫の飛来が多い場所で使用はお避けください。LEDカバー内に虫が侵入するおそれがあります。
- 器具周囲に硫黄成分が存在する場所(温泉地など)・じんあい・腐食性ガスの発生する場所・潮風中での使用はお避けください。光学特性、センサーの動作不良・性能劣化など不具合が発生することがあります。
- センサーは「熱線(遠赤外線)」の変化を検知するため人体以外の温度変化でも検知する場合があります。  
(例)太陽光などの強い光の直接照射・エアコンなどの気流・検知範囲内の照明器具・ブラインドやカーテンの動き  
人体以外の小動物の動き・強いノイズが入った場合
- 検知範囲内に人がいても、長時間動作がない場合、動作が微少な場合は検知しない場合があります。
- 器具の取付高さが高くなると、検知感度が鈍くなる場合があります。
- 夏場など周囲温度が体温に近い温度の場合は、検知感度が鈍くなる場合があります。
- センサーへの熱線を遮断する障害物がある場合は検知できません。  
また、ガラスやアクリルなど熱線(遠赤外線)を透過しにくい物体がある場合、検知できないことがあります。
- 検知範囲内に熱の発生源がある場合、点灯移行時間経過後も不在モードに切り替わらない場合があります。
- 使用しているセンサーの性質上、温度変化等周囲環境の影響、突発性ノイズ・振動・衝撃などにより、誤検知する場合がありますが故障ではありません。
- センサーレンズに傷や汚れをつけないでください。また、ストレスを与えないでください。  
センサーの動作不良・性能劣化など不具合が発生することがあります。
- 照明器具消灯後すぐに点灯させた場合、LED光源ユニットがちらつく場合があります。
- センサーは電源を投入してから安定して検知動作するまで約30秒かかります。電源投入直後は検知動作しません。
- センサーで消灯中は、約1Wの待機電力を消費します。  
長時間使用にならないときは壁スイッチなどで電源を遮断することをおすすめします。
- 調光(約20%)モードの場合には、LED個々の発光色・明るさのバラツキが分かりやすくなる場合があります。  
また、バラツキにより点灯しているLEDと点灯していないLEDが混在する場合がありますが異常ではありません。

## お手入れ (必ず電源を切ってから行ってください)

- 器具本体は、みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・アルカリ性洗剤・化学ぞうきんで拭いたり殺虫剤をかけないでください。また、水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。  
割れ・傷・変色・サビの原因となります。
- センサーユニットを洗剤で拭かないでください。劣化による落下の原因となります。
- センサーレンズをアルコール・洗剤などで拭かないでください。  
変色・変形し、検知性能の劣化原因となります。
- 点灯中や消灯直後は、器具が高温になっているので触れないでください。やけどの原因となります。

## 保証とアフターサービス

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。
- 保証期間を過ぎていた場合は、お買上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または照明サービスセンターに、器具の型式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

照明サービスセンター：電話 0120 - 335 - 762 受付時間：土日祝日を除く9:00 - 17:00

 日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12